



# 要 望 書

平素、東胆振圏域の商工業振興への取組に関し、一方ならぬご指導、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

苫小牧運輸支局（仮称）の新設については、東胆振の1市4町の経済界が共通の課題として捉えており、室蘭運輸支局長様へ検査室の分室並びに支局新設の要望を1992年以来お伝えしてきたところです。

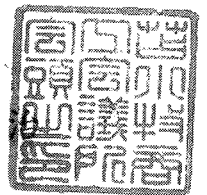
この課題に筋道を付け時代の変化に即していくことは、北海道経済を支える物流都市苫小牧・東胆振、また、北海道の発展に絶対に必要なことですので、別記事項につきまして、貴職の特段のご高配を賜りますよう要望いたします。

2020年12月10日

北海道運輸局長 加藤 進 様

東胆振経済団体懇談会

苫小牧商工会議所  
会頭 宮本知



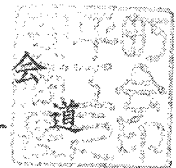
白老町商工会  
会長 熊谷威二



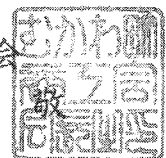
厚真町商工会  
会長 寺坂文秀



安平町商工会  
会長 小林正道



むかわ町商工会  
会長 山崎満



# 北海道運輸局苫小牧運輸支局（仮称）の新設について

## ● 現 状

- ・東胆振圏は、港湾・空港の高いポテンシャルを生かして、ものづくり産業の拠点を目指しており、日高地域を含む広域経済圏として進展を続け、北海道の大消費地である札幌の後背地でもあり、北海道一の貨物取扱量を誇る国際拠点港湾苫小牧港を擁し、更には国際拠点空港として発展を続けている新千歳空港にも隣接していることから、北海道の物流ネットワークの中心的役割を担っている地域であります。
- ・また交通の要衝として運送業が集中するため、苫小牧市や東胆振圏の車両保有台数は年々増加し、日高地域を含めた車両保有台数は室蘭運輸支局管内全体の約65%を占めると共に、人口においても約60%を占めるに至っております。尚、苫小牧市単独での車両保有台数も10万台を超えて、2020年にはご当地ナンバーとして「苫小牧ナンバー」が誕生しております。
- ・今後、海運・陸運関係の業務の増加が予想される中で、海運業務については苫小牧海事事務所での手続きが可能となっておりますが、大型車両等の検査、車両の登録に関する手続きに関しては、室蘭運輸支局までいかなければならず、迅速で効率的な運輸業務を行うためには陸運・海運業務を一体化した組織体制による、苫小牧への運輸支局の新設が強く求められております。

## ● 課 題

- ・苫小牧市へは室蘭運輸支局による乗用車の出張検査が実施されているものの、利用日が年間43回と限定されていることもあり、十分にニーズに答えきれていない状況です。
- ・苫小牧市内の事業者が保有するトレーラー（貨物用被牽引車）の台数は、室蘭運輸支局管内の90%以上を占めております。トレーラーや重機、クレーンなどの大型車両は、直接運輸支局に持ち込み検査を受けなければならず、自走できない車両は運搬のために回送料が発生するなどの課題があり、事業者の費用負担の軽減、時間短縮に向けた対応が切望されております。
- ・石狩、後志、空知を管轄する札幌運輸支局は、道内の自動車保有台数の45%を占めており、その割合も増加傾向にある中で、時期によっては車両が敷地内に入ることができないほど混雑が恒常化しているなど、不便な状況の改善が望まれております。

## ● 効 果

- ・苫小牧支局を設置することにより、本市事業者の費用負担の軽減、時間短縮につながるだけでなく、東胆振や日高地域からは長距離の移動が解消できるなど、地域事業者の利便性向上と業務の効率化につながります。
- ・さらに札幌運輸支局管内南部の恵庭・千歳市のユーザーにとっても、継続検査や予備検査などの諸手続きが当地でも可能となることから、札幌運輸支局の混雑緩和など広域での効果が期待できます。
- ・また、海運・陸運業務を一体化した組織体制の強化により、苫小牧市の物流ネットワークの拠点化がさらに進みます。

## ● S D G s （Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標）

